

令和7年度

下堀農地災害復旧工事

**仕様書**

施工場所： 安芸太田町大字下殿河内地内

# 特記仕様書（個別事項）

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、下堀農地災害復旧工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・**土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」）**
  - ・**特記仕様書（共通事項）（令和6年8月）広島県**※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
  - ・その他関連規格類

### 第2節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
  - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

### 第3節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画  
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
  - 2 計画の掲示及び公表  
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。  
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credastop.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credastop.htm)
  - 3 実施書の提出  
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
  - 4 工事現場の管理体制  
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
  - 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成  
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。  
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
    - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
    - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項  
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。  
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
  - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知  
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表  
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管  
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求  
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるとする。
  - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
  - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
  - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
  - (4) 建設発生土の搬出量
  - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付  
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認  
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管  
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認  
受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再

生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

## 第2章 施工条件

### 第1節 工事用道路

- 1 仮設道路  
工事後の処置 原形復旧

### 第2節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地）（指定処分（A））  
当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。  
また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。  
搬出場所 あさやま工業(株) 歳の村処理場（安芸太田町大字下殿河内）  
運搬距離 L = 1.3 km
- 2 建設資材廃棄物（搬出）（再資源化施設）  
当該工事により発生する建設資材廃棄物（コンクリート破砕片）は、公の関与する再資源化施設のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除きコンクリート殻処分に要する費用（単価）は変更しない。  
搬出場所 あさやま工業(株) 加計工場（安芸太田町津浪）  
運搬距離 L = 9.0 km  
受入可能時間帯 月曜日～金曜日 8：30～16：30  
提出調書等 提出を義務付ける

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、指定した建設副産物処分又は受入れ先への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議し変更の対象とする。

## 第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

## 積算情報

工事名	2/368 下堀農地災害復旧工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	農林 令和06年度
工種区分	ほ場整備工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 7年 7月 1日付 農林	単価地区	22:安芸太田町(旧加計町)
機損適用年月日	令和 6年度 農林	歩掛適用年月日	令和 6年 8月 農林

## 補正情報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 中山間地域 現場管理費 …………… 中山間地域
現場環境改善費	計上しない
冬期補正	設定区分無し
緊急工事補正	設定区分無し
前払支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合



## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ほ場整備工事01	1	式				
土工	1	式				処:
土工	1	式				処:
掘削 小規模 土砂 標準	20	m3			P 1号	
床掘り 土砂 小規模	10	m3			P 2号	
埋戻 人力まき出し 粘性土・礫質土 振動コパ <sup>®</sup> ク(区分)	5	m3			施 1号	
人力荒仕上げ 礫質土	19	m2			施 2号	
土砂等運搬 小規模 ハ <sup>®</sup> ク山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 1.5km以下 DID区間無 夕 <sup>®</sup> 損耗費(良好)含む	25	m3			P 3号	
処分費 土砂	25	m3				処:
構造物取り壊し工	1	式				処:
構造物取り壊し工	1	式				処:
構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工 昼間 時間制約無 低騒音・低振動対策不要	3	m3			施 3号	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
殻運搬 コンクリート(無筋) 機械積込 L=10.0km以下	3	m3			施 4 号	
処分費 コンクリート殻(無筋)	7	t				処:
擁壁工	1	式				
ブロック積工	1	式				
コンクリート基礎 裏コン10cm用	8	m			施 5 号	
コンクリートブロック積工 昼間 時間制約無 練積 裏込コンクリート有	21	m2			施 6 号	
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック 再生砕石 RC-40	10	m3			P 4 号	
すり付け工 雑石積 控え35cm	7	m2			施 7 号	
畦畔工	1	式				
畦畔工	1	式				
畦畔工 H = 500	8	m			施 8 号	
仮設工	1	式				処:

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
仮設工	1	式				処:
仮設道路 敷き鉄板 L=32m	1	式			施 9号	
仮設道路 盛土 L=11m	1	式			施 10号	処:
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(積上げ)	1	式				
運搬費	1	式				
敷鉄板運搬費 L=10km	1	式				
仮設材基地積卸 敷鉄板	1	式			施 18号	
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				中山間地域
純工事費	1	式				

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
現場管理費	1	式				中山間地域
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				金銭的保証を必要とする
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

【 第 1 号 施工単価表 】						
埋戻 人力まき出し (粘性土・礫質土 ,振動コパ <sup>o</sup> ク(区分 ) )						10 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸 雑 費 ( 率 + 丸 め )						
締固め労務費の%		%				
計						
単位当たり						

【 第 2 号 施工単価表 】

人力荒仕上げ 礫質土

10 m2 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						







【 第 6 号 施工単価表 】						
コンクリートブロック積工						1 m2 当り
(昼間 時間制約無 ,練積 裏込コンクリート有 )						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_ブロック積工【手間のみ】						
時間的制約なし コンクリートブロック積工	1	m2				
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350, 8.5個/m2 参考質量41.2kg以上	1	m2				
生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉	0.364	m3			施 12 号	
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						

【 第 7 号 施工単価表 】						
すり付け工 雑石積 控え35cm						1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
石材採取 雑石 控え35cm	1	m2			施 13 号	
石積(張) 積工 練石 玉石	1	m2			P 7 号	
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉	0.136	m3				
計						
単位当たり						



【 第 9 号 施工単価表 】						
仮設道路 敷き鉄板 L=32m						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
敷鉄板設置	96	m2			施 14 号	
敷鉄板撤去	96	m2			施 15 号	
敷鉄板賃料 22 × 1524 × 3048(mm) 供用日数12日	21	枚			施 16 号	
計						
単位当たり						

【 第 10 号 施工単価表 】						
仮設道路 盛土 L=11m						
1 式 当り						
( , 処: )						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
再生土	36	m3				
土砂等運搬 小規模 ハ ック杓山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 1.5km以下 DID区間無 夕作損耗費(良好)含む	30	m3			P 3 号	
路体(築堤)盛土・埋戻 2.5m以上4.0m未満	27	m3			P 8 号	
砂利舗装工(機械) ハ ック杓敷均し 仕上り厚10cm 舗装面仕上げ無し	33	m2			施 17 号	
掘削 小規模 土砂 標準	30	m3			P 1 号	
土砂等運搬 小規模 ハ ック杓山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 1.5km以下 DID区間無 夕作損耗費(良好)含む	30	m3			P 3 号	
処分費 土砂	30	m3				処:
計						
単位当たり						







【 第 14 号 施工単価表 】						
敷鉄板設置						
1,000 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クレーン機能付)運転(賃料) 加-ラ型 山積0.8m3(平積0.6) 排対型:2次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						

【 第 15 号 施工単価表 】						
敷鉄板撤去						
1,000 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クレーン機能付)運転(賃料) 加-ラ型 山積0.8m3(平積0.6) 排対型:2次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						

【 第 16 号 施工単価表 】						
敷鉄板賃料 22 × 1524 × 3048(mm)						1 枚 当り
( , 供用日数12日 )						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
(賃料)鋼板 22 × 1524 × 3048, 802kg/枚 90日以内	1	枚				
(賃料)鋼板 22 × 1524 × 3048, 802kg/枚 整備費	1	枚				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						

【 第 17 号 施工単価表 】						
砂利舗装工(機械) バックホウ敷均し 仕上り厚10cm (舗装面仕上げ無し , )						100 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
再生クラッシュラン 40~0mm	11.6	m3				
バックホウ運転 加-ラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:2次基準 損料補正なし		時間				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						







【 第 1 号 施工パッケージ 】							
掘削 小規模 土砂 標準							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホ(クロー型)[標準型・排対型:2次基準] 標準バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]							
【労務】							
運転手(特殊)							
【材料】							
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J6] = 7 施工数量 標準			[J2] = 5 施工方法 上記以外(小規模)				

【 第 2 号 施工パッケージ 】							
床掘り 土砂 小規模							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
バックホ(クロー型)[後方超小旋回型・排対:2次] 標準バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]							
【労務】							
運転手(特殊)							
普通作業員							
【材料】							
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 5	施工方法 上記以外(小規模)			

【 第 3 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 (1.5km以下 DID区間無 , 夕俵損耗費(良好)含む )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
ダンプトラック[オロード・ディーゼル] 4t積級							
【労務】							
運転手(一般)							
【材料】							
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油							
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 2 土砂等発生現場 小規模				[J2] = 5 積込機種・規格 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)			
[J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む)				[J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無			
[JD] = 3 運搬距離 1.5km以下							

【 第 4 号 施工パッケージ 】							
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック (再生砕石 RC-40 , )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014							
【労務】							
普通作業員							
特殊作業員							
運転手(特殊)							
その他(労務)							
【材料】							
再生クラッシャー 40~0mm							
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 ブロックの種類 間知・平・連節・緑化ブロック				[J2] = 1 胴込・裏込材規格 再生砕石 RC-40			

【 第 5 号 施工パッケージ 】							
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物 (18-8-40高炉60% ,一般養生 )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
<賃>バックホウ 山積0.8m3(平積0.6) 吊能力 2.9t ICT施工対応型							
その他(機械)							
【労務】							
普通作業員							
特殊作業員							
土木一般世話役							
運転手(特殊)							
その他(労務)							
【材料】							
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%) ,高炉							
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油							



【 第 6 号 施工パッケージ 】							
型枠 一般型枠 小型構造物							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】							
型わく工							
普通作業員							
土木一般世話役							
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 2 構造物の種類 小型構造物				

【 第 7 号 施工パッケージ 】							
石積(張) 積工 練石 玉石							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排対型1,2,3次 低騒音							
【労務】							
普通作業員							
運転手(特殊)							
石工							
[参考値] 土木一般世話役							
【材料】							
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 積張の区分 積工 [J3] = 1 石の種類 玉石			[J2] = 1 構造区分 練石				

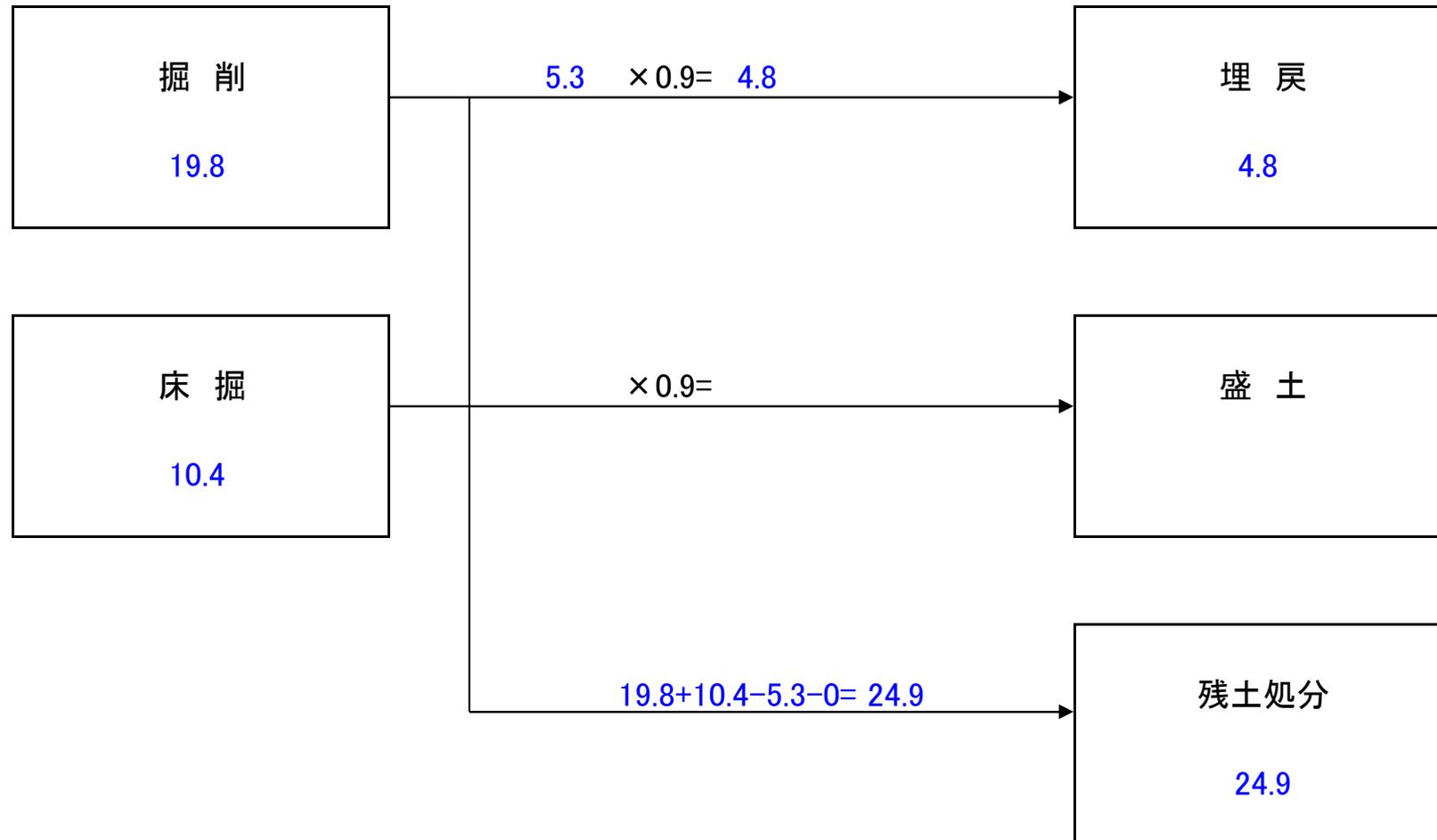
【 第 8 号 施工パッケージ 】							
路体(築堤)盛土・埋戻 2.5m以上4.0m未満							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排対型1,2,3次 低騒音							
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排対型1,2次基準 低騒音							
【労務】							
運転手(特殊)							
普通作業員							
【材料】							
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 施工幅員 2.5m以上4.0m未満							

# 数 量 総 括 表

費 目	工 種	名 称	形 状 寸 法	単 位	計 算 量	設 計 量	備 考
【安芸太田町】 下掘農地							
	土 工						
		掘 削	バックホウ0.28m3	m3	19.8	20	
		床 掘	バックホウ0.28m3	m3	10.4	10	
		埋 戻	コンパクタ I	m3	4.8	5	
		人 力 荒 仕 上 げ		m2	19.0	19	
		構 造 物 取 壊 し 工	無筋コンクリート	m3	3.0	3	
		残 土 運 搬	土砂 L=1.3km	m3	24.9	25	
		Con 殻 運 搬	Con殻 L=9.0km	m3	3.0	3	
	処 分 費						
		建 設 発 生 土 受 入 費	残土	m3	24.9	25	
		Con 殻 受 入 費	Con殻	t	7.1	7	3.0*2.35=7.1
	擁 壁 工						
		ブ ロ ッ ク 基 礎	A400-B550	m	8.0	8	
		ブ ロ ッ ク 積	控35cm 裏コンt=10cm	m2	20.5	21	

		裏込砕石	RC-40	m <sup>3</sup>	9.8	10	
		すり付け工	石積	m <sup>2</sup>	7.3	7	
	畦畔工						
		畦畔工	H=150	m	8.0	8	
	仮設工						
		仮設道路	敷鉄板	m	32.0	32	
			敷鉄板設置撤去	m <sup>2</sup>	96.0	96	32.0*3.0=96.0
			敷鉄板賃料	枚	21.0	21	
		仮設道路	盛土	m	11.0	11	
			購入土(再生土)	m <sup>3</sup>	36.1	36	2.46*11.0*1.2/0.9=36.1
			土砂運搬 L=1.3km	m <sup>3</sup>	30.1	30	2.46*11.0/0.9=30.1
			路体盛土	m <sup>3</sup>	27.1	27	2.46*11.0=27.1
			敷き砂利 t=10cm	m <sup>3</sup>	33.0	33	3.0*11.0=33.0
			掘削	m <sup>3</sup>	30.4	30	27.1+3.3=30.4
			残土運搬 L=1.3km	m <sup>3</sup>	30.4	30	
			建設発生土受入費	m <sup>3</sup>	30.4	30	

# 土量配分表



## 各 種 数 量 計 算 書

測 点 名	距 離	掘 削			床 掘			埋 戻					
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
SECT 0.0		1.8			1.3			0.6					
SECT 4.0	4.0	2.6	2.20	8.8	1.3	1.30	5.2	0.6	0.60	2.4			
SECT 8.0	4.0	2.9	2.75	11.0	1.3	1.30	5.2	0.6	0.60	2.4			
合 計	8.0			m3 19.8			m3 10.4			m3 4.8			m3

## 各種数量計算書

測点名	距離	コンクリート練積ブロック			すりつけ工			人力荒仕上			裏込砕石		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
					0.0								
	1.3				2.6	1.30	1.7						
(SECT 0.0)	0.5				2.6	2.60	1.3						
SECT 0.0		2.19						2.0			1.0		
SECT 4.0	4.0	2.56	2.38	9.5				2.4	2.20	8.8	1.2	1.10	4.4
SECT 8.0	4.0	2.92	2.74	11.0				2.7	2.55	10.2	1.5	1.35	5.4
(SECT 8.0)					3.3								
	0.5				3.3	3.30	1.7						
	1.6				0.0	1.65	2.6						
				m2			m2			m2			m3
合計	11.9			20.5			7.3			19.0			9.8



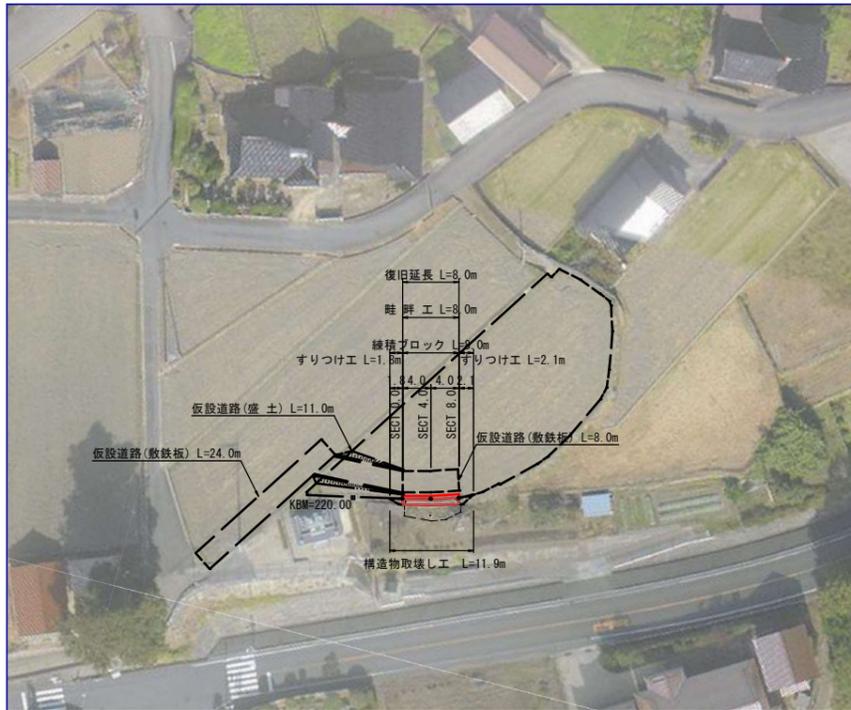
## 各 種 数 量 計 算 書

測 点 名	距 離	仮設道路(敷鉄板)			仮設道路(盛土)								
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
744番地1				24.0									
745番地				8.0			11.0						
合 計				32.0			11.0						



平面図  
S=1:500

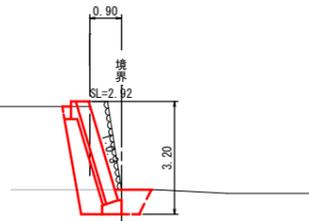
面積  
A = 701.57 m<sup>2</sup>



横断面図  
S=1:100

SECT 8.0

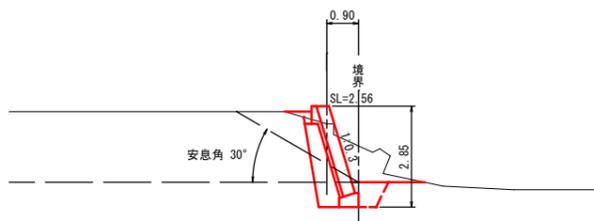
GH=219.95  
FH=219.95



掘削	2.9
床掘	1.3
埋戻	0.6
人力荒仕上	2.7
基面整正	1.2
畦畔工	1.0

SECT 4.0

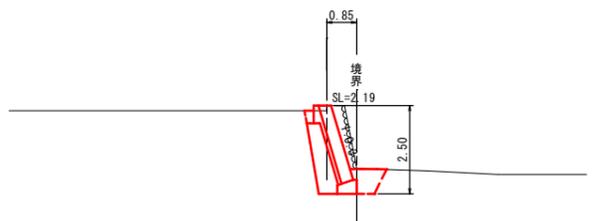
GH=219.45  
FH=219.95



掘削	2.6
床掘	1.3
埋戻	0.6
人力荒仕上	2.4
基面整正	1.1
畦畔工	1.0

SECT 0.0

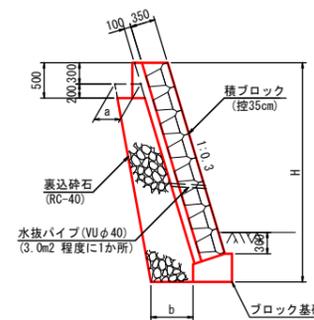
GH=219.95  
FH=219.95



掘削	1.8
床掘	1.3
埋戻	0.6
人力荒仕上	2.0
基面整正	1.1
畦畔工	1.0

構造図  
S=1:50

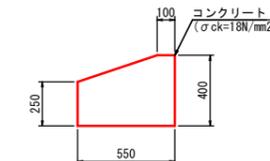
コンクリート練積ブロック S=1:50



数量表

測点	裏込砕石	a	b
SECT0.0	1.0	0.34	0.53
SECT4.0	1.2	0.35	0.58
SECT8.0	1.5	0.35	0.60

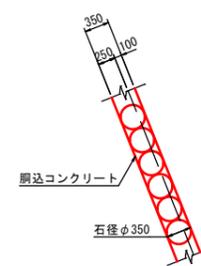
ブロック基礎 S=1:20  
(A400-B550)



数量表 10m当り

コンクリート	1.86m <sup>3</sup>
型枠	6.50m <sup>2</sup>
基面整正	5.50m <sup>2</sup>

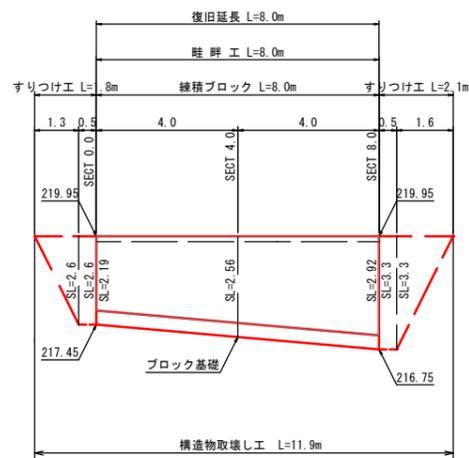
すりつけ工(練石積) S=1:50  
(石材100%採取)



数量表 10m2当り

網込めコンクリート	1.39 m <sup>3</sup>
-----------	---------------------

展開図  
S=1:100

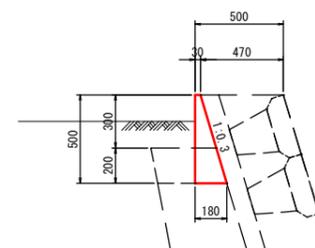


DL=215.00

DL=215.00

DL=215.00

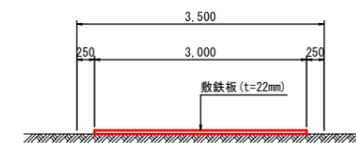
畦畔工 S=1:20



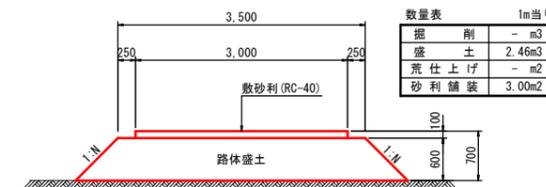
数量表 10m当り

コンクリート	0.53m <sup>3</sup>
型枠	5.00m <sup>2</sup>

仮設道路(敷鉄板) S=1:50



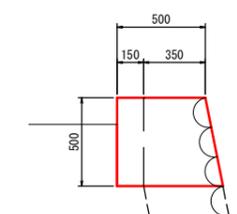
仮設道路(盛土) S=1:50



数量表 1m当り

掘削	- m <sup>3</sup>
盛土	2.46m <sup>3</sup>
荒仕上	- m <sup>2</sup>
砂利舗装	3.00m <sup>2</sup>

構造物取壊し S=1:20



数量表 1m当り

とりこわし	0.25 m <sup>3</sup>
-------	---------------------

仮設道路(敷鉄板) L=32.0m  
仮設道路(盛土) L=11.0m

工事名	令和6年11月1日～11月2日豪雨災害 (令和6年11月1日～11月2日発生)		
図面名	下郷(田)計画図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図示	図面番号	1
会社名	広島県土地改良事業団体連合会		
事務所名	安芸太田町		